

決算説明会

株式会社アルプス技研

2015年12月期
第2四半期(上期)

— 東京証券取引所市場第一部 証券コード：4641 —

正社員の技術者派遣会社です

説明のポイント

【2015年度 上期決算概況】

P3～P9

前年同期比 増収増益を達成

新体制が掲げるビジョン

P10

～チームアルプスの取組み～

【2015年度 通期施策・業績予想】

P11～P15

創業以来最高業績、配当を予想

【中期目標】

P16

営業利益率10%超、単価4千円超

■2015年度 上期決算概況

計画通り進捗し、前年比、増収増益

(単位：百万円)

【連結】	2014年度 上期	2015年度 上期	増減率
売上高	9,689	10,956	13.1%
営業利益	685	926	35.1%
経常利益	671	952	42.0%
四半期純利益	422	596	41.0%

(単位：百万円)

【個別】	2014年度 上期	2015年度 上期	増減率
売上高	8,341	9,643	15.6%
営業利益	669	844	26.1%
経常利益	701	901	28.6%
四半期純利益	419	569	35.8%

- ・ 外部環境は自動車中心に好調
- ・ 課題は人材不足

製造業界

輸出動向

改善見通し

自動車業界動向

生産台数増加

人材業界

派遣要請

強い要請
高稼働率

人材獲得競争

引き続き激しい

単価・稼働率がUP、利益率も向上

(単位：百万円)

【連結】	2014年度 上期	2015年度 上期	増減率
売上高	9,689	10,956	13.1%
売上原価	7,211	8,148	13.0%
売上総利益	2,478	2,807	13.3%
販管費	1,792	1,880	4.9%
○売上高販管費率	18.5%	17.2%	-1.3%
営業利益	685	926	35.1%
○売上高営業利益率	7.1%	8.5%	1.4%
営業外収益	54	34	-37.6%
営業外費用	69	7	-88.5%
経常利益	671	952	42.0%
特別利益	4	8	76.1%
特別損失	7	5	-27.0%
税引前四半期純利益	668	956	43.0%
四半期純利益	422	596	41.0%
○売上高純利益率	4.4%	5.4%	1.1%

利益率向上要因

■売上高営業利益率

■売上高純利益率

①単価上昇

P.6へ

②技術者数増

P.6へ

③稼働率上昇

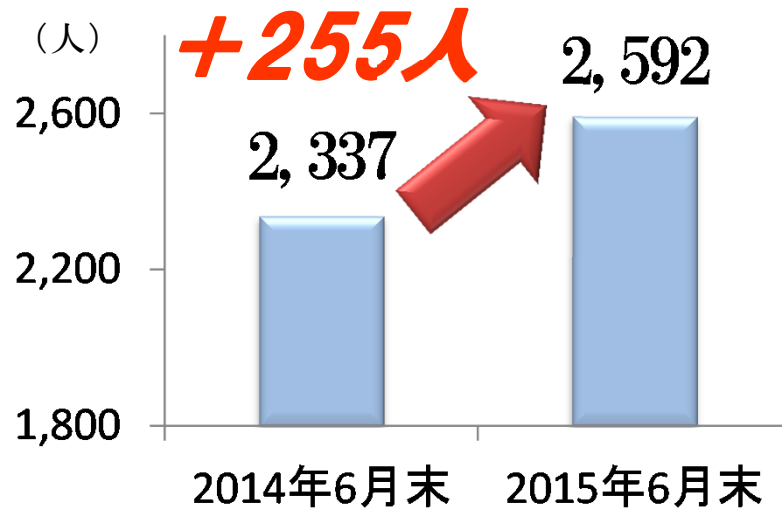
P.7へ

④販管費率改善

主要指標は着実に向上

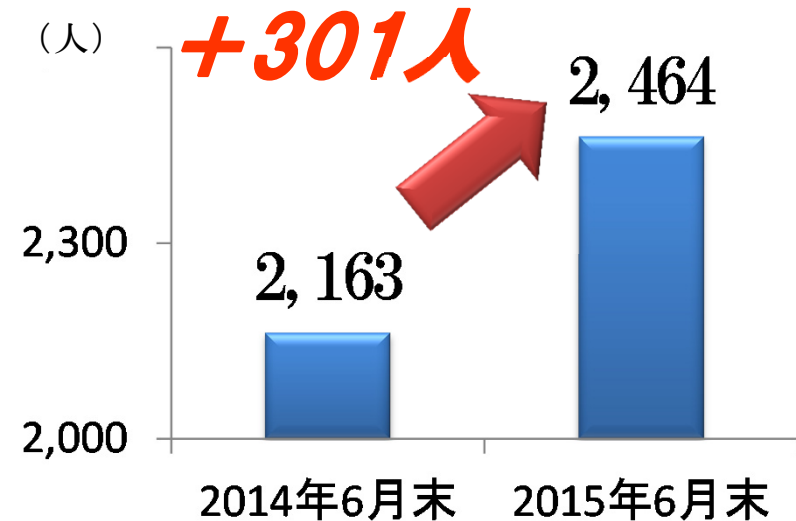
技術社員数

※2015年6月末時点



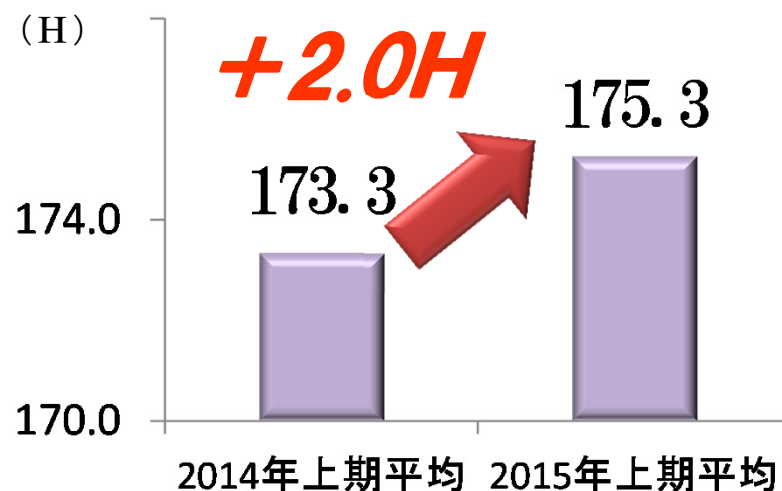
稼働人数

※2015年6月末時点



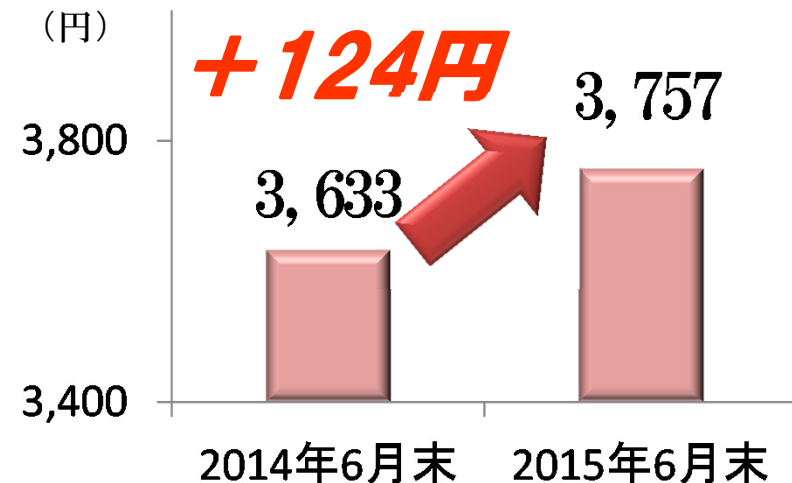
稼働工数

※2015年度 上期平均

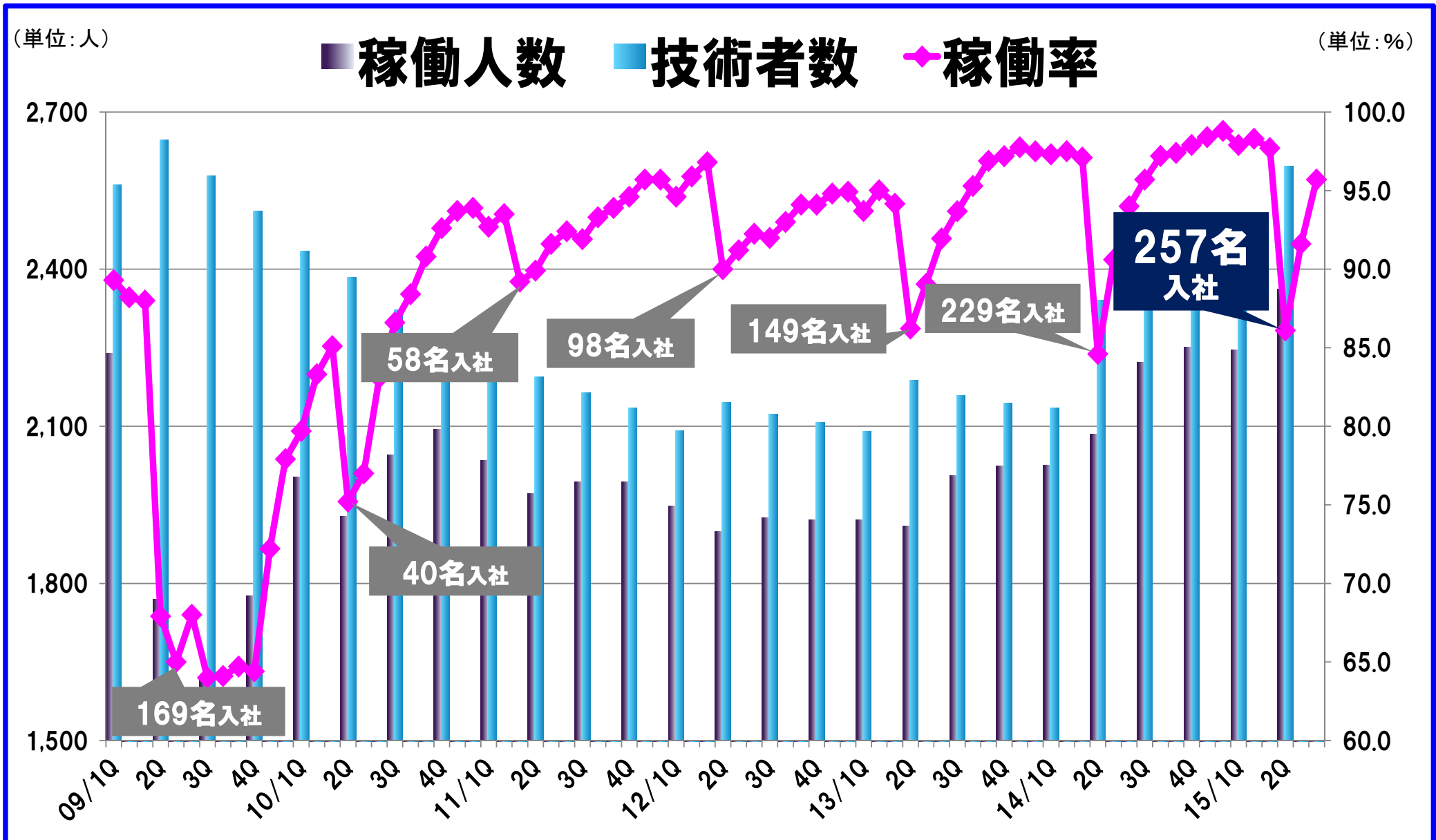


契約単価

※2015年6月末時点



2015年新卒の稼働も計画通り進捗



※①「稼働人数」…四半期毎の稼働人数(人) ②「技術者数」…四半期毎の技術者総数(人) ③「稼働率」…月当たりの新卒を含む全社稼働率(%)

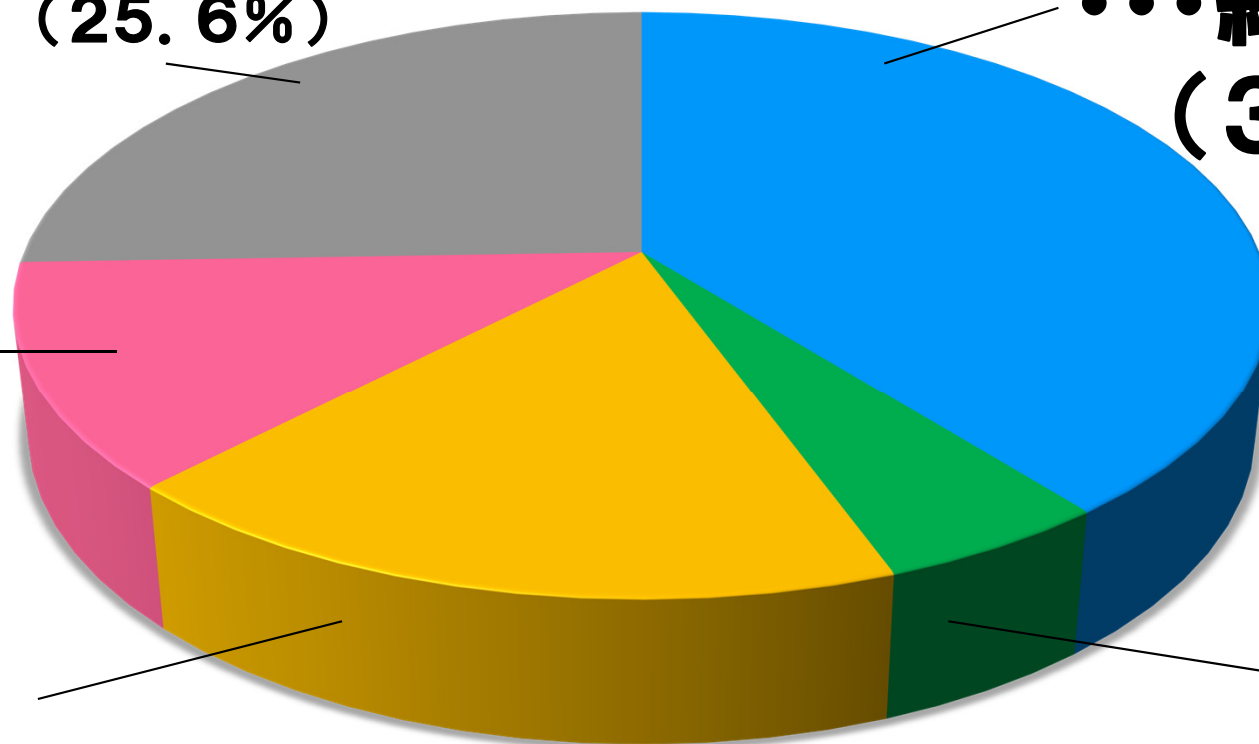
- ・自動車関連の要請は引続き好調
- ・環境・医療関連の新規開拓進む

業種別売上高 (2015年度 上期)

その他(工作機械、ソフト開発、
太陽光、医療系、航空宇宙等)
・・・約24億円 (25.6%)

半導体関連
・・・約12億円
(12.3%)

精密機器関連
・・・約17億円
(17.6%)



自動車関連
・・・約38億円
(39.4%)

電機関連
・・・約5億円
(5.1%)

特定企業に依存しない顧客構成

売上上位10社

2013年度 通期	2014年度 通期	2015年度 上期
デンソーテクノ	デンソーテクノ	キャノン
キャノン	キャノン	デンソーテクノ
東芝	東芝	東芝
日産自動車	日立オートモティブシステムズ	三菱電機
日立オートモティブシステムズ	日野自動車	日野自動車
日野自動車	三菱電機	日立アプライアンス
パナソニック	日産自動車	日立オートモティブシステムズ
ケーヒン	アイシン精機	三菱重工業
三菱重工業	日立アプライアンス	いすゞ自動車
アイシン精機	三菱重工業	ソニーセミコンダクタ
上位10社比率 26.4%	上位10社比率 25.0%	上位10社比率 23.5%



■新体制が掲げるビジョン

～チームアルプスの取組み～

	意思 (W I L L)	義務 (M U S T)
社 会	<u>ミッション</u> 【社会に対し実現したい目的】 ➤ 顧客の心の中を 「優れた人材集団 ＝ アルプス技研グループ」 で満たしたい	<u>事業</u> 【社会に対する事業責任】 ➤ 製造業における“人”の すべてを解決すること
組 織	<u>ビジョン</u> 【なりたい組織の状態】 ➤ グループの技術者・営業・ 本社が一丸となること ➤ 事業部間での競争原理が 働いていること	<u>バリュー</u> 【あるべき組織の姿勢】 ➤ 決して諦めない強い思い

チームアルプス

アルプスブランドの確立

■2015年度 通期施策(個別)

技術者との連携強化

新卒280名採用
2016年入社予定

キャリア140名採用
2015年入社

優良顧客開拓

キャリア
ローターゲ
ット
シ
ョ
ン

チーム化

単価UP

退職防止
帰属意識の向上

チームアルプス

■2015年度 通期施策(グループ)

総合人材アウトソーシング企業グループへ

さらなる成長エンジン
獲得へ

国内事業

高稼働率の維持

アルプスビジネスサービス

成約率の向上

アルプスキャリアデザイン

チームアルプス

海外事業

安定収益構造の
構築

台湾・上海

東南アジア開拓

ミャンマー

■連結業績予想

増収・増益

創業以来最高業績の達成へ

(単位：百万円)

【連結】	実績		業績予想			
	2014年度通期		2015年度上期		2015年度通期	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	20,169	11.5%	10,956	13.1%	22,600	12.1%
営業利益	1,626	51.9%	926	35.1%	1,870	15.0%
経常利益	1,617	48.4%	952	42.0%	1,920	18.7%
当期純利益	1,260	93.3%	596	41.0%	1,320	4.8%

■ 個別業績予想

増収・増益

営業施策が着実に成果を上げる

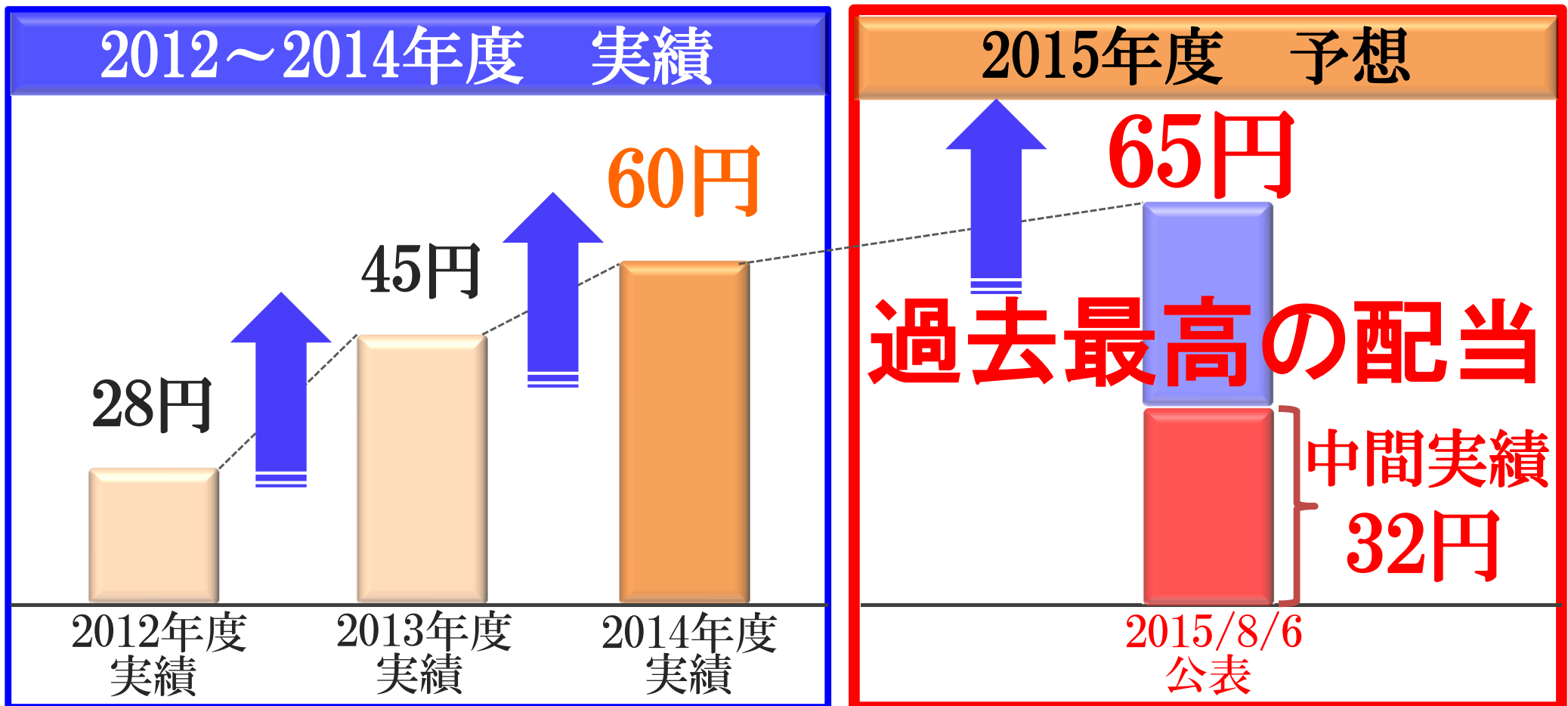
(単位：百万円)

【個別】	実績		業績予想			
	2014年度通期		2015年度上期		2015年度通期	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	17,503	13.1%	9,643	15.6%	20,050	14.6%
営業利益	1,576	42.6%	844	26.1%	1,680	6.6%
経常利益	1,647	38.7%	901	28.6%	1,730	5.0%
当期純利益	1,034	46.2%	569	35.8%	1,210	17.0%

■ 配当予想 (2015年度年間配当金)

【配当の基本方針】

- 連結ベースでの配当性向50%を基本とする
- 中間配当金は年間配当金の50%を目処とする
- 業績にかかわらず年間配当20円を維持する (安定配当の見地)

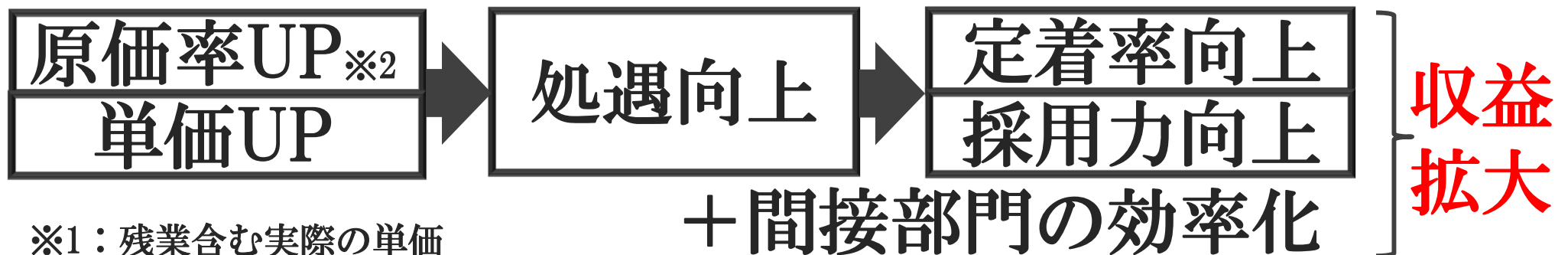


【備考】2013年度実績・・・創業45周年記念配15円を含む。

■ 中期目標 (個別)

- ① 営業利益率 10%以上を達成
- ② 平均実単価 (※1) 4千円以上を達成

	2014年度		中期目標
売上高原価率	73.3%	➡	75.0%
売上高販管費率	17.7%	➡	15.0%
売上高営業利益率	9.0%	➡	10.0%



※1：残業含む実際の単価

※2：高稼働率を前提とした原価率UP

アルプス技研は、引き続き積極的に 株主還元の実を図ってまいります。

【免責事項】

本資料に記載されている業績予想、将来予測等は、作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的风险や不確実性が内在しています。
実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。